

青少年体験活動フォーラム

～体験活動を通して、青少年の未来を考える～

期日 平成22年12月4日(土)～12月5日(日)

会場 国立赤城青少年交流の家

【基調講演】『青少年期における体験活動の有用性』

吉田 章氏 (筑波大学大学院 人間総合科学研究科 教授)

【事例発表・分科会】

- A 青少年の課題に応じた体験活動
事例① 「課題を抱えた青少年に対する合宿就労支援セミナー」 NPO 法人キャリア倶楽部
- B 青少年の発達段階に応じた体験活動
事例② 「ワークキャンプ」(青年対象事業) 国立中央青少年交流の家
事例③ 「タイニーキャンプ」(小学校低学年対象事業) 国立信州高遠青少年自然の家
事例④ 「環境スタディ」(小学校高学年対象事業) 国立那須甲子青少年自然の家
- C 地域のニーズに応じた体験活動
事例⑤ 「環境ワークキャンプ」(若者が、猪苗代湖の水質改善に、地域の方々を巻き込みながら取り組む体験活動) 国立磐梯青少年交流の家
事例⑥ 「森で遊ぼう! 森を創ろう!」(赤城南麓の松枯れ問題から、自然と環境について考える体験活動) NPO法人CCC自然・文化創造工場関東事業部

【ワークショップ】

- ① 課題を抱えた青少年に対するカウンセリングの基礎
吉村順子氏(鶴見大学文学部 教授)
- ② 青年の意欲や主体性を引き出す会議のつくり方
佐々倉玲於氏(佐々倉玲於ファシリテーター事務所 代表)
- ③ 人間関係づくりのための体験活動
松村純子氏(国立青少年教育振興機構 国立信州高遠青少年自然の家 次長)
- ④ 信頼関係を築くあかぎアドベンチャープログラムの指導法
国立赤城青少年交流の家 企画指導専門職
- ⑤ 青少年の心を育む木登り体験(ツリーイング)
国立赤城青少年交流の家 企画指導専門職

- ◆主催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家
- ◆共催 独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立磐梯青少年交流の家
国立中央青少年交流の家
国立那須甲子青少年自然の家
国立信州高遠青少年自然の家
- ◆後援 群馬県教育委員会/埼玉県教育委員会/千葉県教育委員会/栃木県教育委員会/茨城県教育委員会
長野県教育委員会/前橋市教育委員会
- ◆対象 青少年教育行政担当者, 青少年教育施設職員, 学校教育行政職員, 学校職員, 青少年団体指導者
集団宿泊活動受入地域関係者, 民間教育事業者, その他青少年の体験活動に関心のあるもの
- ◆参加費 1,270円(食事代, シーツ洗濯代)

<申し込み先・問い合わせ>

独立行政法人国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家

〒371-0101 群馬県前橋市富士見町赤城山27

TEL 027-289-7224 FAX 027-289-7226 E-mail akagi22kikaku@niye.go.jp

URL <http://akagi.niye.go.jp>

担当: 企画指導専門職 西田真吾・鈴木圭一